



至鴨沢(バス停)

# 山の♡にふれて歩歩みまっふ



いろいろな思い出♡に出会える  
といいね。こころ歩ませむ山へ、  
さあ出発しよう。



七ッ石山  
1757.3

富田新道を経て日原

奥多摩小屋

雲取山  
1937

避難小屋  
2017.1

至後山林道 三条の湯

奥秩父主稜線

至丹波

飛竜山  
(大洞山)  
2069.1

雁坂峠を経て  
甲武信岳



雲取山

三峰三山のひとつ雲取山は  
日本百名山に選ばれているんだ。山頂からは富士山、八ヶ岳、  
奥秩父の山々を望め、天気によければ北アルプスも見えるかも。  
夜は幻想的な東京の夜景をながめることができるけど、夜道の登山は  
経験を積んでからにしようね。

田部・富田レリーフ



田部重治(1884~1972)は、日本の登山界のパイオニアとして、  
また紀行文文学者として活躍した人だよ。  
富田治三郎(1902~1959)は、雲取山荘の初代主人だよ。いつも腰に鎌を差していたので、  
登山者に「鎌仙人」と呼ばれ親しまれていたんだって。

雲取山荘



昭和3年小さな小さな山小屋から始まり、雲取山の自然にふれて、一日一日うつり行き、  
多くの人に愛されてきたんだ。山小屋との出会いも人と山の思い出の始まりだよ。

「芋の木」は落葉樹コシアブラの方言で、「ドッケ」は突起がなまった言葉だそうですよ

芋ノ木ドッケ



おどっけると、腰あぶらいよ？  
山は安全が第一！

白岩山  
1921.2

三峰三山のひとつで、白い石灰岩が多いので「白岩山」となったんだって。周辺には石灰岩を好む植物が生育しているよ。

ボッカ(歩荷)さん

背負子(しよいこ)で荷物を山小屋へ荷上げする人。肩かけたら「ごくろうさま」と声をかけてあげてね。

至西谷山

長沢山  
1738

この地名の由来は、炭焼小屋の美しい娘「お清」の悲しい恋の伝説と修験者(しゅげんじゃ)が「お経」をこの地に埋めたとの二説があるんだ。

お清平



石のお地藏さんは、峠の守り神だよ。登山の安全をお願いします。

地藏峠



秩父宮様が昭和8年にこの山を登山されたときに、霧の中にゆるるサルオガセを見て「霧藻ヶ峰」と命名したんだ。毎年6月第一日曜日には、ここで奥秩父の山開きがおこなわれるよ。

霧藻ヶ峰  
1523.1

昔はこの炭窯(すみがま)で三峰神社の炭を作っていたそうよ。

炭焼平

山仕事をしている人々は、二又の木は山の神様としてあがめて、決して切らなかつたんだって。

二又ヒノキ



至大日向

大陽寺

かつての神社参拝者は、表参道を通ってこの滝に打たれて身を清めてから参拝したそうよ。

清浄の滝



妙法ヶ岳

三峰三山のひとつで、山頂には石でできた奥宮があるんだ。

三峰神社奥宮

三峰ビジターセンター

三峰神社



奥秩父の自然や安全な登山について学ぶことができるよ。

三峰山は1900年ほど昔にヤマトタケル(日本武尊)がこの山に登って東国の平和を祈り、神をまつたといわれているんだ。

登竜橋と紅葉

ここから雲取山頂を踏破すれば、強き竜の姿に変身するかも？

一の鳥居

今は三峰神社まで車で登れるけど、昔はここからかごに乗りたり歩いたりして登ったんだ。

大輪バス停

岡本バス停

裏参道(馬道)

昔は、この裏参道を通して毎日数頭の馬が神社まで生活物資を運搬したんだ。

至秩父湖(二瀬ダム)

お問合せ先  
●登山道に関すること  
埼玉県秩父環境管理事務所 電話 0494-23-1511  
●観光に関すること  
(社)秩父観光協会大滝支部 電話 0494-55-0707